

第9回
お平尾 潤さん
伊豆の国市地域おこし協力隊



地域資源を使った
お土産を作りたい

2020年秋から、観光協会所属の地域おこし協力隊として活動している平尾さん。これまでの約2年半の活動では、日帰り温泉マップのリニューアルや、市内の神社仏閣などを紹介するサイト『伊豆語』の制作などに積極的に取り組んできました。また、自転車に興味で、毎週のように乗っているという平尾さんは、「狩野川周辺は景観がきれいで走りやすいですね。市内には自転車が特化したお店や旅館もあり、これ

を観光に生かさない手はありません」と、現在はサイクリスト向けのツアーの企画にも力を注いでいます。このような活動が積極的に行えるのは、地域との繋がりがあってこそ。「自分一人だけの力じゃできないことも、地域の人に相談すれば何とかなることが多いです」。利害関係にとらわれず、進んで協力してくれる人も多く、活動していくうちに、人脈もどんどん増えていく。そのような地域のコミュニティの温かさは、これまでの仕事では無かった感覚だそうです。

今後の展望を尋ねると、「手に取った人に、地域の魅力を知ってもらい、旅行の満足度を上げるような『お土産』の開発を行いたいです」との答えが。若者をターゲットに、大切な人に贈ったり、自分へのご褒美になる、「特別な」お土産の開発を目指しているとのこと。

平尾さんにとって伊豆の国市は「ちょうどいい場所」。都会でもなく、田舎すぎるわけでもないこと、伊豆の観光地や都会へのアクセスもよいことから、とても住みやすいそう。日ごろ、自転車で市内を巡っているからこそ、「市のちょうどいい魅力」に気付けるのかもしれない。

国際交流員がモンゴルを紹介！

連載

ジャルガルの
ほのぼの日記

第59回
A Happy Lunar New Year!



皆さん、サエンバエノー。河津桜の見頃を楽しみに待ちながら旧正月(Lunar New Year)に向けて大掃除をしている私ですが、皆さんはお変わりなくお過ごしでしょうか。

春の花々を見ると、フォークダンスサークル『はなのわ』や『花笑み』の皆さんの元気でパワフルなダンスを思い出しします。昨年、皆さんの活動に何回か参加し、モンゴルのヨーホルダンスと一緒に踊り、楽しみ会にも参加させていただきました。また、皆さんと一緒に伊豆の国ふるさと博覧会の体験プログラム『モンゴルの文化にふれてみよう』でフォークダンスや

ヨーホルダンスを発表する予定でしたが、残念ながら台風8号により中止となりました。いつか皆さんと一緒に輪になって踊り、交流の輪を広げて行きたいですね。

さて、2月20日〜23日は、モンゴルの旧正月です(日付は毎年変わります)。モンゴルの旧正月の時は「サル シンデー サイハン シンレジ バエノー? (素敵なお正月を過ごしていますか)」や「アマルバエノー? (お元氣ですか)」といさつします。さらに、これぞまさに遊牧民〜! という感じで「マル タルガン バエノー? (家畜はよく太っていますか?)」ともあいさつします。「マル」は「家畜」、「タルガン」は「太っている」という意味です。遊牧民にとっては、厳しい冬を乗り越え、家畜が健康的に太ってくれることが家族の健康と幸せの基礎ですね。それでは、バヤルタエ。

協働まちづくり課
☎ 055(948)1412



▲『はなのわ』の皆さん

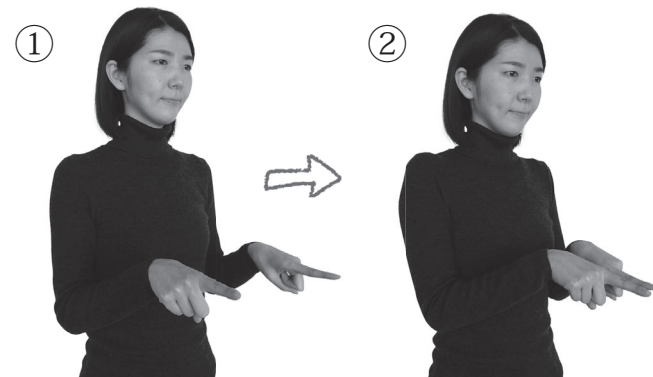


モンゴルのヨーホルダンスを踊る『はなのわ』の皆さん

かんたん手話講座 ③4

一緒に

「一緒に」の手話は人差し指を立てた両手を、指先を前に向けたまま左右から引き寄せてつけます。



障がい福祉課
☎ 0558-76-8007 FAX 0558-76-8029

やってみよう! かんたん手話講座
受講者募集

とき/3月7日(火) 19時~20時30分
ところ/あやめ会館 2階会議室
内容/あいさつなど身近な手話の会話を学びます(初心者向け)
対象/市内在住または在勤、在学の人 10人程度(先着順)
料金/無料
持ち物/筆記用具、マスク
申込/3月3日(金)までに電話またはFAXで障がい福祉課まで